

令和6年度第2回幹線交通検討分科会 記 録 票

日 時 : 令和7年1月17日(金) 10時00分～
場 所 : 大竹市役所 3階第1会議室
出席委員 : 別紙 委員名簿のとおり

事務局長挨拶

1 開 会

委員及び事務局自己紹介

2 協 議

(1) 協議事項1: 幹線交通検討分科会設置要綱の改正について(案)

○【事務局】協議事項1により説明。

大竹市地域公共交通活性化協議会同様、本分科会においても役職名を簡潔にわかりやすくするため、資料1のとおり、「分科会長」を「会長」に、「副分科会長」を「副会長」に改め、要綱の該当箇所を変更することについて承認を求めるもの。

○質疑等 : なし⇒

承認

(2) 協議事項2: 会長及び副会長の選任について(案)

○【事務局】協議事項2により説明。

前会長でもあった岡野俊彦委員の逝去に伴い、令和6年度第1回幹線交通検討分科会(書面決議)において、新たに委員を選任したところであるが、現在、会長が不在であるため、幹線交通検討分科会設置要綱第4条第1項に基づき、改めて会長及び副会長を委員の互選により定めるもの。

○会長に立候補する者(長光副会長)あり。

委員に諮り、新会長として、長光委員を選任。

○長光(前)副会長の立候補により、副会長が空席となったため、副会長を選任する必要がある。

立候補する者(泉委員)あり。委員に諮り、新副会長として、泉委員を選任。

(3) 協議事項3: 小方橋架け替え工事に伴うこいこいバスルート及びダイヤの変更について

○【事務局】協議事項3、別紙資料により説明。

広島県が実施する小方橋架け替え・道路改良工事に伴い、令和7年4月中旬から令和9年3月頃までの約2年間、小方橋が通行止めとなる予定であるが、こいこいバスが小方橋を通るルートとなっていることから、ルートの変

更を行う必要がある。あわせて、ルート変更に伴い、ダイヤも変更となる。このため、ルート及びダイヤを変更することについて、承認を求めるもの。

○質疑等：【委員】小方橋は通れなくなるのか。

【事務局】架け替え工事を行っている間は通れなくなる。そのためルートを変更する必要がある。

【委員】旧なかはま保育所バス停についてはどうなるのか。

【事務局】旧なかはま保育所を今後どうするか、その方向性が定まるまでは、当面そのままとさせていただきたい。小方橋の架け替え工事が終わる２年後に改めて検討したい。

【委員】下瀬美術館のあたりにバス停があればよいと思う。

【事務局】あの周辺には商業施設も多いが、交通量が多い道路でもあり、バス停の新たな設置は難しいと考えている。しかし、架け替え工事が終わる２年後に向けて何らかの検討はしていくようになると考えている。

○その他質疑等：なし⇒

承認

3 報 告

(1) 報告事項１：市民・バス利用者アンケート調査結果の概要について

○【事務局】報告事項１により報告。

本年度、計画期間を令和７年度から令和１１年度までの５年間とする「大竹市地域公共交通計画」を策定することとしているが、計画策定に向けた資料とするため、市民及びバス利用者を対象にアンケート調査を実施した。調査結果について、概要をまとめたので、報告するもの。

○質疑等：【会長】こいこいバスに週１は乗っているが、バスが来ないと不安になる。バスが今どこを走っているか分かるバスロケーションシステムを導入してほしい。

【事務局】防災無線が考えられるが、公共交通に特化した形では難しい。また、バスロケーションシステムは、以前、見積を取って検討したことがあるが、高価であり、見送られた経緯がある。

(3) 報告第２号：こいこいバスの新型車両について

○【事務局】報告事項２、資料により報告。

車両の仕様、環境性能、ユニバーサルデザイン、安全装置について説明。また、車体色、愛称、ロゴマーク、ラッピング、セレモニーについてもあわせて説明。

○質疑等：【会長】以前、こいこいバス導入の際、分科会で話し合っ

てティッシュを配布した。その際、ティッシュと一緒に財布に入るサイズのポケット時刻表も一緒に渡したが、大変喜ばれた。今回についても配布してはどうか。

【事務局】検討する。

4 その他

- 【事務局】小方橋架け替え工事の進捗により、こいこいバスの運行、ルート等に再度の変更が生じる場合は、みなさま方に再度お諮りすることとなる。また、新型車両納車時の対応についても、何らかの形で委員のみなさまにご連絡することになろうかと思われるため、よろしくお願いします。

5 閉 会